



一般社団法人
こども女性ネット東海
Child & Woman Net TOKAI

誰一人取り残さないために
こどもと女性目線で
多様性に配慮した
次のステップの地域防災



日頃より「たすかる」活動 災害発災後「たすける」活動

私たちの活動は

被災地外の災害NPO等によるレスキュー的な活動ではなく
日頃から活動しているNPO等や専門家がつながり
災害発災後も、できるだけ早く日常に戻すための活動です。

私たちは平時も災害時もこどもの権利を保障します。

「こども基本法」には4つの原則があり、その一つである
「子どもの声を聴くこと」は積極的に進められるべきです。
さらに、子どもに関することが決められ、行われる時は、
「子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）」を
考える必要があります。

Our Activities

- 1.地域の防災力を高める女性防災リーダーを育成します。
- 2.こどもと女性に安心な任意の小規模避難所開設支援とネットワークをつくりします。
- 3.助産師・保健師・社会的保育士・看護師等専門家のネットワークづくりをつくりします。
- 4.災害時、在宅避難、任意の小規模避難所等に必要時に必要な救援物資が提供できるような仕組みをつくりします。
- 5.安全だけでなく安心な避難所や仮設住宅について政府・行政・企業に提言します。
- 6.こどもと女性目線の被災者支援を行います。

Our Vision

市民力を高めた個々人が、
平常時から様々な課題を自分事とし、
行動し、自然災害等の困難を互いに支え合い、
乗り越え、希望をもち生きていける社会

Our Mission

平時も災害時もこどもと女性が主体となり、
すべての人の安心・安全な生活を保障する。



こども女性目線の 防災リーダー育成事業

こどもと女性が配慮対象者としてではなく、主体となり、地域とのつながりを強くし、自ら進んで活動し、いざという時に発言力・行動力を発揮できるような力を醸成するために本プロジェクトを始動しています。

- ①全7日間26コマ（1泊の避難所体験を含む）の養成講座
- ②大規模被災地の視察
- ③ステップアップ研修
- ④地域の活動を伴走支援



こどもと女性目線で 被災者支援活動

生後1か月か2か月で被災検診を受けていないので発達に心配。小さなこどもが見える方の多くは金沢に二次避難しママ友がいない。



赤ちゃんが慣れない環境で泣き続ける。お母さんもおばあちゃんも昼夜抱き続けて疲れてしまう。互いに言い争いも。親が不安でたまらない。こども女性ネット東海のスタッフが抱っこしたら5分でスヤスヤ♪



**能登半島地震
被災地支援活動**
1/10～9/30時点
17回 160名以上



笑顔が消えていた親子がこんな素敵な笑顔に！

災害時こどもと女性に安心な 任意の小規模避難所開設支援とネットワークづくり

皆さん
想像してみてください



ダウンロードを
希望される方は
↓こちら↓



こどもと安全確認をしながら避難所に向かいます。避難所はたくさんの方でごったがえしています。一般的に指定避難所は、学校の体育館です。体育館は広く大きく、人が一緒に食事をし、寝起きを共にするためにつくられた施設ではありません。そばにいる大人の不安を感じ取り、甘えることもできず、こどもにとって指定避難所は「我慢をする」場です。こどもがはしゃぐ姿がある。妊婦さんが安心して授乳できる場がある。このような避難所があればどんなによいでしょうか。今、私たちにできることがあります。みなさんの近くに任意の小規模避難所が開設できる施設はありませんか。互いに連携・協力し、開設できるように準備しましょう。

